

## 平成19年度第三回

### 人材育成委員会『若手交流会』(技能継承)実施報告

(中小企業人材確保推進事業)

当委員会では先般、毎年恒例となっております人材育成委員会参加企業による『若手交流会』(技能継承)を開催致しました。当交流会開催は昨年度までは年1~2回でしたが、今年度は8月、11月、1月の計3回の開催が決定しております。今回はその第2回目の交流会開催であり総勢15社35名、内若手参加者20名と、前回同等の人数での開催となりました。

第一部ディスカッションでは、若手主体で企画し、合意を取る体験演習を実施しました。若手参加者を4グループに分け、「砂漠で遭難したときどうするか」をテーマにコンセンサスゲームを実施し、白熱した議論が展開されました。

非日常のテーマのため、業務経験等に引きずられることなく、各自の人間性に根ざした感性で議論ができ、全員が活発に参加し、合意を取る難しさと重要性を体験できました。その結果コミュニケーション能力の強化が図れ、お客様へソリューションを提供する各々の過程で、良い影響がでるものと期待しています。またオブザーバでも1グループ作成し、若手と同じ体験演習を行ないました。その甲斐があり第二部交流会では、若手同士のみならずオブザーバとのディスカッションを通じ技術面他の会話もはずみ、たいへんな盛り上がりを見せました。

各参加者が今年度残り1回の若手交流会を通し、社内中心メンバーとして互いに切磋琢磨出来る仲間と一人でも二人でも多く出会い懇親を深める事により、今後の各社の有用な情報交換、人的交流、問題解決等に役立て、対会社としてもお互いが良きパートナーと成り得る事を望むと同時に、将来的には宮城県IT業界全体のさらなる底上げと今以上の宮城県情報サービス産業協会の活性化を願ってやみません。

最後に、お忙しい時期にもかかわらず、入念な企画をつめ、運営を取り仕切った5名の若手リーダーの方々、そして若手の方々のご参加を了承頂きました人材育成委員の皆様、本当に有難う御座いました。この場をお借り致しまして御礼申し上げます。また、今回ご都合により参加出来なかった企業様も、次回ご参加頂ければ幸いに存じます。

#### 1. 開催概要

- 実施日時：平成20年1月25日(金) 15:30~20:30  
第一部：ディスカッション 15:30~18:30  
第二部：交流会 18:30~20:30
- 開催場所：パレスへいあん  
(第一部：7Fシャント、第二部：6Fコーラル)
- 開催趣旨：各社若手の交流の場を通し、垣根を越え同世代の悩み解決、情報交換等技能者の心構えと技能に関する意識向上と今後の人的交流に役立てて、牽いては県内IT業界のさらなる活性化を図る。
- 参加対象者：人材・育成委員会各企業内リーダー及びそれに準ずる方々(各社1~2名)
- 参加人数：39名/17社(若手20名、オブザーバ19名)

## 2. 内容

### ディスカッション

#### ●テーマ

「宮城をより良くするためには？」

- |           |         |
|-----------|---------|
| ◆ IT 業界   | (Aグループ) |
| ◆ 観光・イベント | (Bグループ) |
| ◆ 環境      | (Cグループ) |
| ◆ スポーツ    | (Dグループ) |

#### ●狙い

本ディスカッションは、テーマに対する問題分析と実現方法を話し合うことにより、より良い方向性を見出し宮城県内の産業活性化の為のアイデア創出、及びディスカッションにより人的交流を深めることを目的とする。

#### ●準備物

- |          |     |
|----------|-----|
| ・ホワイトボード | 2台  |
| ・模造紙     | 8枚  |
| ・マジックペン  | 4本  |
| ・名札      | 人数分 |

#### ●進行方法：

##### ①開催内容説明

主旨説明の後、参加者から事前収集した希望に基づきA～Dグループに分ける。

※各グループにて若手リーダーが進行補佐

##### ②解決策、実現方法検討

参加者から事前収集した課題・問題点に対し、グループ単位で解決策・実現方法を討議してまとめる。

※各グループにて発表者を決定。(若手リーダー以外)

##### ③休憩

※この間にオブザーバーの方に御着席頂く

##### ④発表・質疑応答

グループ単位で発表、及び質疑応答を行う。

##### ⑤アンケート記入

配布用紙に記入頂く。

※オブザーバーの方からの総評は、懇親会の時間に頂戴する

### 3. 平成19年度第三回人材育成委員会若手交流会参加者名簿

参加企業及び参加者一覧（◎は若手参加者） 17社39名（内若手13社20名）

参加企業様（順不同）	参加者（敬称略）	所属等
テクノ・マインド(株)	◎ 泉谷 佳克 安住 弘美 佐藤 弘志	システム営業本部 経営企画本部 総務部 常務取締役（当委員会委員長）
(株)ビッツ	◎ 半澤 晃大 ◎ 花田 幹雄 大森 清規	東北事業所 第2システム部 東北事業所 第1システム部 東北事業所長（当委員会副委員長）
システムニacol(株)	◎ 長嶺 昌弘 ◎ 森 伸之 田代 紀生	取締役（当委員会副委員長）
(株)アート・システム	◎ 阿部 徳崇 ◎ 佐山 公一 荒井 勝広	リーダー マネージャー
NEC ソフトウェア東北(株)	◎ 三浦 茂哲 北村 昭	品質管理本部 技術管理マネージャー
コンピューターマネージメント(株)	◎ 田中 さと美 赤松 康治	仙台営業所 所長
サイバーコム(株)	◎ 柳 哲士 ◎ 高杉 慎一郎 佐藤 貴宏	第2技術グループ リーダー 第5技術グループ リーダー 第3技術グループ 課長
(株)システムワン	◎ 高久 憂也 高橋 貴紀	商品開発部 専務取締役
(株)ジャパンエンジニアーズ	◎ 新田 久元 鈴木 潤也	
(株)東京システムエージェンシー	◎ 三浦 隆博 ◎ 新妻 和義 古藤野 茂信	リーダー リーダー 開発部 マネージャー
東北インフォメーション・システムズ(株)	◎ 中里 亜矢子 ◎ 水間 清 佐藤 正美	副主任 副主任 電力事業部総括Gス <sup>®</sup> チャリストマネージャー
(株)富士通東北システムズ	◎ 山谷 佳名恵 ◎ 大村 哲 (智田 信博) 渡部 昭	事業推進統括部経営企画室 公共ソリューション事業部市町村システム部 事業推進統括部 経営企画室課長 ソリューションビジネス部部長
(有)マインドアクセス	今野 寿道	代表取締役
(株)エスエスイー	◎ 舘 貴義 島村 新治	青森事務所 チーフ 仙台事務所 所長
(株)アテネコンピュータシステム	菊地 義勝	取締役システム運用事業部長
(株)仙台ソフトウェアセンター	三上	
(株)ジェイ・ジェイ・エス	村山 隆晴	常務取締役